



調査結果についてのお知らせ



1. 子ども教育の連携に関する児童生徒アンケートとは

市内の子ども達の学習・生活上の実態を把握するために行っている調査です。

草加市が大切にしている「**自己肯定感**、**自己有用感**、**他者理解**」に関する内容や、**目指す「草加っ子」**に関する内容について調査しています。

今回は「**自己有用感**」に関する様子をお知らせします。

【対象】 小学校3年生～中学校3年生の児童生徒

【方法】 個人用タブレット端末を使った電子回答

【時期】 令和6年9月

「自己有用感」とは

自分が他の人に役立っている、必要とされていると実感することができる心のこと。



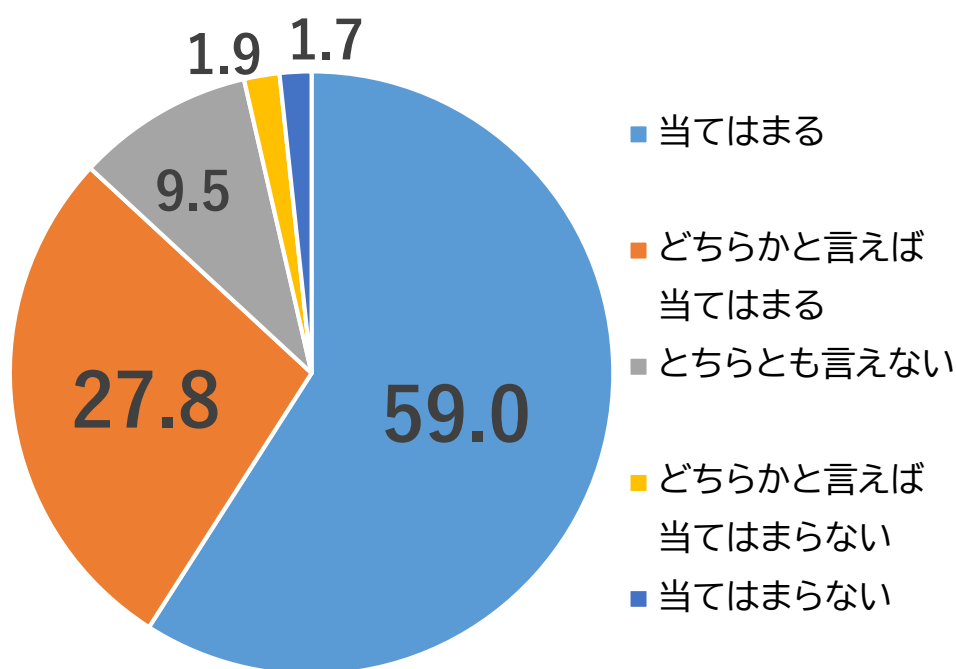
調査結果についてのお知らせ



2. 自己有用感に関する調査結果

次の設問への回答状況から自己有用感に関する実態を把握しています。

- ① 難しいことでも、努力を続ければ、いつかできると思う。
- ② 周りの人が喜ぶことをしたいと思う。
- ③ 人の手助けをすることがある。



自己有用感
86.8%



自己有用感に関する設問では、市内の**8割を超える**子どもたちが「当てはまる」又は「どちらかと言えば当てはまる」と回答しました。

内容についてお子さんと話し合ったり
ご家族が考える その子らしいよさを
改めて伝えたりしてみませんか。



調査結果についてのお知らせ



3. 我が子の自己有用感を育むために家庭でできること

子ども達には、一人ひとりによさや可能性があります。

まずは、お子さんの言動をよく見て、よさや努力を認めていきましょう。その子らしさの中にこそ、よさがあることに気づかせてあげてください。

【小学校1～3年生なら】

- 家庭や学校で周りの人の役に立っていることを認め、実感させます。

【小学校4～6年生なら】

- 自分のよいところを生かし、伸ばしていけるように励まします。

【中学生なら】

- 他者と比べずに、自分の長所や得意なことに目を向けさせます。

次のURL又は二次元コードから、草加市教育委員会が発行している「保護者向け子育てリーフレット」をご覧ください。

子どもとの関わり方について、多くのヒントが載っています。※すぐ見る本文に掲載のURLからもご覧いただけます。

<https://x.gd/iYJsw>

